

作品点数約 250 点。架空の生物がテーマの展覧会。

この秋、見たこともない不思議な生きものたちが NO-MA にやってきます。

ボーダレス・アートミュージアムNO-MA企画展

# これ、すなわち生きものなり



民話の中で語り継がれる妖怪、テレビ画面に登場する特撮怪獣——私たちの身の周りには、この世に存在しないとされる想像上の生きものが溢れています。

ある時は空想世界への憧れが、またある時は畏怖の念が形となり、生み出された生きものたちは、いつの時代も私たちの心を不思議な世界へと誘います。

本展は、アール・ブリュットの作者と現代アーティストが生み出した、摩訶不思議な生きものたちを二期にわたり紹介する展覧会です。この生きものも、あの生きものも、人が持つ豊かな感情に棲みつく、すなわち生きものです。未知なる生きものとの遭遇をお楽しみください。

※アール・ブリュット(仏: Art Brut)

「生の芸術」という意味のフランス語。Art は芸術、Brut はワインなどが生(き)のままである様子を表す。正規の美術教育を受けていない人が自発的に生み出した、既存のモードに影響を受けていない絵画や造形などを指す。

前期:2015年9月12日(土)~10月18日(日) 後期:10月22日(木)~11月23日(月・祝)  
ボーダレス・アートミュージアム NO-MA

## 【展覧会の見どころ】

- ・総勢 14 名の作家の生み出す不思議な生きものたち。
- ・約250点にも及ぶ、膨大な数の作品を前期と後期の二期に分けて展示。
- ・小松和彦(文化人類学者)、武村政春(生物学者)による架空生物についての講演を実施。
- ・毎週水曜日に、空想の生きもの「ヘンテコ蟲」を作るワークショップを開講。(小学生対象)

## 【問い合わせ / 掲載用写真貸出・取材】

社会福祉法人グロー 法人本部企画事業部 (ボーダレス・アートミュージアム NO-MA)  
担当: 山田・渡邊・横井 〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 4837 番地の 2  
TEL: 0748-46-8100 FAX: 0748-46-8228 MAIL: kikaku@glow.or.jp

アール・ブリュットの作り手を含め、想像上の生きものを造り出す多くの作家の作品を紹介します。そこで、本展では会期を「前期」と「後期」に分け、より多くの作家の多くの作品を紹介できるように致しました。

## 前期出展作家

9月12日(土)～10月18日(日)

飯塚 政暁	Iizuka Masaaki	1987-	滋賀県在住
木本 博俊	Kimoto Hirotochi	1949-	愛知県在住
古賀 翔一	Koga Shoichi	1989-	福岡県在住
澤田 真一	Sawada Shinichi	1982-	滋賀県在住
新野 洋	Shinno Hiroshi	1979-	京都府在住
谷平 博	Tanihira Hiroshi	1982-	島根県在住
萩尾 俊雄	Hagio Toshio	1987-	福岡県在住
沼 祐一	Numa Yuichi	1925-1943	出生地詳細不明

## 後期出展作家

10月22日(木)～11月23日(月・祝)

渥美 圭亮	Atsumi Keisuke	1947-2010	静岡県
江本 創	Emoto Hajime	1970-	千葉県在住
門山 幸順	Kadoyama Yukinari	1952-	鳥取県在住
鮎 万里絵	Suzuki Marie	1979-	長野県在住
濱脇 忍	Hamawaki Shinobu	1990-	滋賀県在住
藤田 雄	Fujita Yu	1971-	奈良県在住

## 展覧会概要

タイトル ボーダレス・アートミュージアム NO-MA 企画展「これ、すなわち生きものなり」

会 期 前期：2015年9月12日（水・祝）～10月18日（日）

後期： 10月22日（木）～11月23日（月・祝）

会 場 ボーダレス・アートミュージアム NO-MA  
（滋賀県近江八幡市永原町上 16 [旧野間邸]）

開催時間 11：00～17：00

休 館 日 月曜日休館（ただし祝祭日の場合、翌日休館）

入 館 料 一般 300 円（250 円） 高大生 250 円（200 円）

中学生以下、障害のある方と付添者 1 名は無料 ※（）内は 20 名以上の団体料金

主 催 ボーダレス・アートミュージアム NO-MA

社会福祉法人グロー（GLOW）～ 生きることが光になる～

後 援 滋賀県、滋賀県教育委員会、近江八幡市、近江八幡市教育委員会（予定）

協 力 （社福）青葉仁会、芦屋画廊、（有）渥美ゴザ屋、  
（社福）おおつ福祉会「伊香立の社」木輝、滋賀県立近江学園、  
（特非）はれたりくもったり、（社福）春濤会 八幡学園、  
「八幡学園」山下清展事業委員会、YOD Gallery、  
（一社）近江八幡観光物産協会、（特非）しみんふくし滋賀

※2014年4月、滋賀県社会福祉事業団は、オープンスペースれがーととひとつになり、  
名称が「社会福祉法人グロー」になりました。

## 【ボーダレス・アートミュージアム NO-MA】とは？

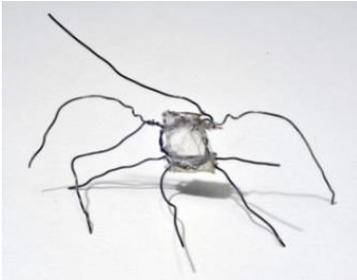
滋賀県近江八幡市の歴史ある重要伝統的建造物群保存地区にあり、昭和初期の町家を改築し 2004 年 6 月に開館した、社会福祉法人グローが運営するミュージアムです。障害のある人の表現活動の紹介にとどまらず、現代アーティストの作品と共に展示し「人の持つ普遍的な表現の力」を感じることができる企画展を開催しています。また、「障害者と健常者」をはじめ様々なボーダー（境界）を超えていく試みを実践し、アール・ブリュットを扱うミュージアムとして国内外から注目されています。



## 出展作家紹介

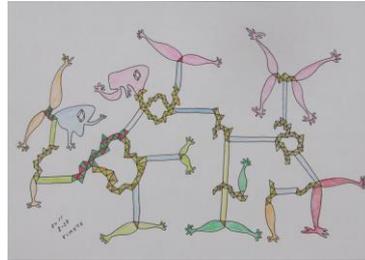
### 前期 8 作家

#### 飯塚 政暁 Iizuka Masaaki



限られた材料で蜘蛛のような生物を大量に制作している。彼はこの生きものを常時持ち歩きし、時折振り回してはその動きを確かめている。

#### 木本 博俊 Kimoto Hirotochi



ゆったりとした線で描かれる有機的な生きものたち。空気のような浮遊感を感じさせる。

#### 古賀 翔一 Koga Shoichi



制作は小学校 1 年生の頃から。ティシュペーパーやセロテープなど日常品を巧みに使い制作する。作品のモチーフは妖怪。マンガやアニメ、パソコンで情報を収集し、よりリアルな造形を追求する。

#### 澤田 真一 Sawada Shinichi



無数の“トゲ”に覆われた不思議な生きものを多数制作している。その造形には、独特のプリミティブな力強さが満ち溢れている。

#### 新野 洋 Shinno Hiroshi



花、葉や実などを採集・観察し、それらを材料に樹脂成型し、“いきもの”として再構築する。現代における人間と自然との共存の可能性を問いかける。

#### 谷平 博 Tanihira Hiroshi



植物が生えた人間、昆虫の触角が生え少女。作品は呪術的な雰囲気漂い、現実と非現実の狭間で心を大きく揺さぶる。

#### 萩尾 俊雄 Hagio Toshio



特撮ものの怪人を身の回りの素材を用いて制作する。多くの子どもが人形遊びをするように、彼の独自の制作は始まった。

#### 沼 祐一 Numa Yuichi



ちぎり絵によって独特の形を制作。その作品は絵本の世界から出てきたようであり、原初の風格も漂っている。

## 後期 6 作家

### 渥美 圭亮 Atsumi Keisuke



生活雑貨の小売業を営む傍ら、1995年頃から、廃材の発泡スチロールをベースにした造形物を制作。人間の身体に獣の顔を持つ半獣半人像や、阿吽牛像など不思議な生き物を次々に制作した。

### 江本 創 Emoto Hajime



自作の物語から想像上の生きもの「幻獣」を洋紙、竹籤を素材に制作する。標本額装することにより、あたかも実在してい

たかのようにリアルにつくり上げている。

### 門山 幸順 Kadoyama Yukinari



マイワールドから生まれた新種のカニや象などの生き物を大量に制作している。カラフルに色彩が盛り上がり、派手な装飾が

独自の世界を際立たせている。

### 鮎 万里絵 Suzuki Marie



鮎が描く世界には、時おり、見たことがない生きものが描かれる。それらは、エロティックだったり暴力的だったりするが、どこかユーモアも感じさせる。

### 濱脇 忍 Hamawaki Shinobu



人の顔にも見える、小さな突起物。これは「さぼてんのこども」なのだそうだ。粘土の柔軟さと、彼

の心の動きがこのユニークな生きものを生み出した。

### 藤田 雄 Fujita Yu



数字をその形を活かしながら擬人化していく。無機質な記号は彼の目には、有機的な生きものに見えてい

るのだろうか。鬼をモチーフとした作品を多く制作する。

## 関連イベント

### (1) 講演

#### 1. 「架空の生きものを科学する」

講師：武村 政春（生物学者、東京理科大学准教授）

**本展に出展するアール・ブリュットの作品をはじめ、さまざまな架空の生きものの、驚くべき生態の謎を、生物学的見地から解き明かします。**

日 時：2015年9月27日（日） 13:30～15:00

会 場：旧伴家住宅（近江八幡市新町3丁目15）

定 員：40名（要予約／参加費無料）



武村政春：

1969年三重県生まれ。分子生物学者。東京理科大学大学院科学教育研究科准教授。専門は生物教育・分子生物学・複製論。『ろくろ首考』（文芸社）、『ろくろ首の首はなぜ伸びるのか』（新潮新書）、『未確認生物学!』（メディアファクトリー）などでは、妖怪やUMA(未確認生物)を生物学的見地から紹介。科学的知識をもとに多種多様な生物に自由な想像を広げ、生命を扱う学問の魅力を伝えている。

#### 2. 「民族社会のなかの妖怪たち」

講師：小松 和彦（文化人類学者、民俗学者、国際日本文化研究センター所長）

**架空の生きもの（妖怪や鬼など）を通じて、日本人が古くから暮らしの中で感じてきた、見えない世界とのかかわりや、心のありようについてお話しいただきます。**

日 時：2015年10月24日（土） 13:30～15:00

会 場：酒游館（近江八幡市仲屋町中21）

定 員：60名（要予約／参加費無料）



小松和彦：

1947年東京都生まれ。日本の文化人類学者、民俗学者。国際日本文化研究センター所長。シューレ大学アドバイザー。口承文芸論、妖怪論、シャーマニズム、民間信仰などを研究。東京都出身。著書は『怪異の民俗学』（編著）、『京都魔界案内』（光文社）など。

## (2) ワークショップ

### ◆放課後 NO-MA ワークショップ

#### 「まぼろしのヘンテコ<sup>むし</sup>蟲をつくろう」

日常の材料で作る空想の生きもの「ヘンテコ蟲」。名前や生息地なども自分で想像して世界に一つだけの生きものを作ります。毎週水曜日の夕方は NO-MA に集まりましょう。

日 時：毎週水曜日 15:30~16:30  
会 場：ボーダレス・アートミュージアム NO-MA  
定 員：7名（予約不要／参加費無料）  
対 象：小学生



## (3) ギャラリートーク

ボーダレス・ミュージアム NO-MA の学芸員による作品の解説、展覧会の見所などお聞きいただけます。前期、後期のオープニングにあわせて、計二回実施いたします。

### 「夕暮れギャラリートーク」

日 時：① 9月12日（土）16:00~17:00  
②10月24日（土）16:00~17:00  
会 場：ボーダレス・アートミュージアム NO-MA  
定 員：10名（予約不要／参加費無料）

>> イベントのご予約・お問い合わせ

ボーダレス・アートミュージアム NO-MA

滋賀県近江八幡市永原町上 16 TEL/FAX: 0748-36-5018 URL: <http://www.no-ma.jp/>

## 広報用画像

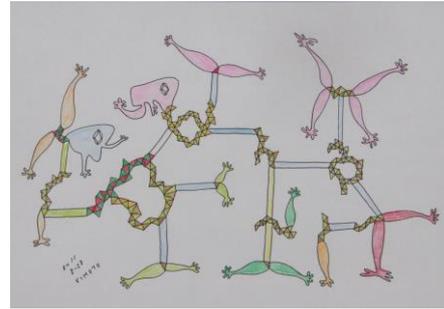
掲載ご希望の方はお手数ですが別紙にご記入の上、FAXまたはメールにてご連絡ください。

この資料の画像・テキスト等の著作権は、当ミュージアムや個人、協力団体に帰属します。

資料の情報を事前に許可なく、複製等の行為をすることはかたくお断りします。



① 飯塚政暁 「無題」



② 木本博俊 「人の身体」



③ 古賀翔一 「九千坊」



④ 澤田真一 「無題」



⑤ 新野洋 「14.8.2008,Wien」



⑥ 谷平博 「ホモ・アンテナフェラ」



⑦ 萩尾俊雄 「無題」



⑧ 沼祐一 「どうぶつ」

ボーダレス・アートミュージアム NO-MA 企画展

# これ、すなわち生きものなり

広報用画像申込書

社会福祉法人グロー 法人本部企画事業部  
(ボーダレス・アートミュージアムNO-MA) 広報宛  
FAX : 0748-46-8228

本展覧会広報用素材として前期出展作家の作品 8 点をご用意しております。  
ご希望の際は下記申込用紙に必要事項をご記入の上、F A X 又はメールにてお申し込みください。  
なお、写真の使用に際し、以下の点をご注意ください。

①キャプションは、作家名、作品名、コピーライト等を必ず表記ください。

②作品のトリミング、文字載せはお控えください。

本展記事をご紹介頂く場合には、恐れ入りますが情報確認の為に校正、掲載誌（紙）、DVD、CD 等をお送り下さい。

媒体名：『 \_\_\_\_\_ 』

種別： TV ラジオ 新聞 雑誌 フリーペーパー  
ネット媒体 携帯媒体 その他 発売・放送予定日： \_\_\_\_\_

御社名： \_\_\_\_\_ ご担当者名： \_\_\_\_\_

Eメールアドレス： \_\_\_\_\_ @ \_\_\_\_\_  
(〒 \_\_\_\_\_ )

ご住所： \_\_\_\_\_

お電話番号： \_\_\_\_\_ FAX： \_\_\_\_\_

ご希望の図版番号に✓をおつけください。

- ① 飯塚政暁「無題」  
photo 大西暢夫
- ② 木本博俊「人の身体」  
photo 大西暢夫
- ③ 古賀翔一「九千坊」  
photo 大西暢夫
- ④ 澤田真一「無題」  
photo 大西暢夫
- ⑤ 新野洋「14.8.2008,Wien」
- ⑥ 谷平博「ホモ・アンテニフェラ」  
photo 大西暢夫
- ⑦ 萩尾俊雄「無題」  
photo 大西暢夫
- ⑧ 沼祐一「どうぶつ」  
photo 大西暢夫

プレゼント用ご招待券をご希望の場合は✓をおつけいただき、枚数をご記入ください（10 枚まで）（ 枚）**【問い合わせ / 掲載用写真貸出・取材】**社会福祉法人グロー 法人本部企画事業部（ボーダレス・アートミュージアムNO-MA）  
担当：山田・渡邊・横井 〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 4837 番地の 2  
TEL : 0748-46-8100 FAX : 0748-46-8228 MAIL : kikaku@glow.or.jp